

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	スペイン語	学科 専攻
派遣先大学 (国)	エストレマドゥーラ大学 (スペイン)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Filosofía y Letras		
報告書提出日	2019年9月		
留学予定期間	2019年9月～2020年7月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： () /合計

航空券代： 149000 (円) /合計

ビザ申請関連費： 6000 (円) /合計

その他 ()： () /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？1000000 (円) /合計

5月 大学からプログラム開始日について記載してあるメールが届いた。航空券が少なくなり、取れなくなったり値段が上がるのを恐れ早めに購入。出発日・帰国日を自由に変更できる「ロングステイ運賃」で購入。

入学許可証が手に入ったらずぐに VISA の申請に行けるように、必要書類（銀行残高・健康診断書・犯罪経歴証明書・海外旅行保険（これは神大で申し込む））を集める。

また現地で住む家を探し、連絡を取った。

6月半ば 入学許可証がメールで届く。現在はそれをコピーしたのもでも VISA がとれると聞いたのでそれを持って大使館へ行った。英文の入学許可証とスペイン語のものどちらもメールで届くが使えるのはスペイン語の方のみ。現地に着いてからの手続きもスペイン語文で書かれたものしか使えない。

大使館では必要書類を提出し、サインするだけなので5分程度で終了。（大使館は毎日多くの人があるのですぐに待合室が人でごった返す。そのため9時くらいに大使館に着くと一番乗りできるので早めに行くのがおすすめ。）

7月半ば VISA の受け取りへ行く。

7月後半 自分には虫歯はないと思っていたが念のため歯医者へ。虫歯があったので2回通って完治。（油断しているととんでもない目にあうので注意。）

1.2. 渡航について

朝 11 時のフライトだったので空港に9時につけるようにバスの予約をしたが、道路が混んでいたため20分遅延。すぐにチケットカウンターへ行き、手続きを済ませたがあっという間に10時になっていた。

飛行機に乗り 15 時間のフライト。現地時間 20 : 30 に到着し、Atocha 駅行きのバスに乗る。そこから renfe に乗ってホテルへ行こうとするが、renfe のチケットを買うのに手間取る。なんとか購入し乗ることができた。わからないときは一人でやろうとするより、人に聞くと助けてくれる。また WI-FI がないと携帯が使えないので、地図などは事前にスクリーンショットで撮っておくなどしておいたほうがいい。

翌日は携帯ショップで SIM カードを購入。Madrid に来る機会もないだろうということで観光。また、カセレスへ行くための道順を確認するなどした。初めての場所なら必ず下見をした方がいい。

その翌日に avanza というバスを予約していたのでそれに乗ってカセレスへ向かった。(約 3000 円) 4 時間ほどで到着。事前に一緒に住むピソの友人に連絡を取っていたのでバス停まで車で迎えに来てくれた。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

私が住むピソは月初めにお金を支払って更新していく。最初の月だけ fianza と言って敷金のようなものがあり、家賃を 2 倍払う。(100€なら 200€) この fianza は 基本的には退去時に帰ってくる。すべて現金手渡しで支払う。また、みんなで使う日用品を買うために毎月 2€を別途支払う。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

必要書類 (パスポート、パスポートのコピー、VISA のコピー、スペイン語の入学許可証。入国・出国時にパスポートに押されたスタンプのコピーも必要。) を持参し oficina de extranjería に行くと所定の用紙を渡されるので記入。窓口に行くとき銀行で支払うよう紙を渡される。その足で銀行に行ったが、「今日はそれを支払う窓口がしまっているから出直してくれ」と言われる。翌日朝一で、銀行で支払ったのち、oficina de extranjería に行き手続きを済ませた。カードの受け取りは 3 週間後だ。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

9/10 大学のウェルカムパーティーがあり語学学校の説明を受けたりする。プレイスメントテストはネット上で各自受ける。

9/11 学校で学部の授業料や oficina de extranjería の説明などをされる。oficina での手続き方法がわからなければこの説明会で聞くことができるが、正直何も聞き取れないので事前に自分で調べたりなどしておくほうが安心である。

9/17 副学部長、またはその助手の方に自分が取る授業を所定の用紙に記入した上で渡し、副学部長にサインをしてもらう。それが終わったら学校内にある銀行で支払う。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

帰国後に DELE の B2 に合格する。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

日本にいた時はスペイン語を自ら積極的に使ったりすることがなかなかできなかったが、これからはスペイン語を使わなければ生きていけないということをしっかりと自覚し、分からなくても喋る

ように心がけ、達成目標に少しでも近づくよう毎日コツコツとできることをこなしていきたいと思う。

3.3. 今月の学習・研修目標

市販の単語帳を持ってきたので、1日1ページをノートに書いて覚える。時間がある時は映画などをスペイン語音声でみる。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	13-14 Historia de España
火	10-11 Historia de España (11-13 Gramática Normativa スペイン語を聞くために参加)
水	9-10 Historia de España (11-13 Gramática Normativa 上記と同じく)
木	9-10 Historia de España
金	
土	
日	

4.2. 授業について

スペイン史の授業を取っている。日本でも取っていたので内容が近いかと思っていたが違っていた。しかし、三年生の選択必修であるスペイン地域事情の授業で受けていた内容と少し似ている部分があったため、単語など聞き覚えのあるものがいくつもあり取っていて良かったと思った。授業の内容は録音し自宅でも聞けるようにしている。しかし、先生は容赦ないスピードでパワポを進めるので書ききれぬまま時間が過ぎる場合が多々ある。まずはスペイン語を聞くことが大事だとエストレマドゥーラ大学の国際センターの人にも念を押されたので、正式に授業を取っているのはスペイン史だけだが、他の授業も受けている。

また、語学学校は10月からなのでまだ時間割などはわからない。

4.3. 予習・復習・自習について

帰宅途中や帰宅後、録音した音声を聞いたり、ノートに取った単語や文の意味を調べたりしている。またスペイン人にどうやって単語を覚えたりしたのかと質問し、たくさん書いたと聞いたので、練習帳を購入し毎日単語を発音しながら書いている。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	シェアハウス
ピソの友人が近所のスーパーがあるところなどを教えてくれたり、買い物に連れ出してくれるので買い物をした。基本的に食事は各自好きな時に自分で作って食べる。 製氷機がないので氷を作るプレートみたいなものがあると便利。(現地でも購入可だが、ダイソーなど	

のものには蓋があり、それがかなり便利なので荷物に余裕があるなら持って行くべきだと思う。水は一応飲むことができるそうだが、とにかく美味しくないので5Lの水を買い置きしている。掃除は一週間に一度、週替わりで担当する。わたしのピソは4人いるので、私は1ヶ月に1回家全体の掃除をする。

5.2. 課外活動について

特にすることがないので家でスペイン語の映画を何週も見て、どんな表現を使っているのかなどを気にして見ている。

友人と会うこともたまにある。友人の友人と知り合ったりなど輪がひろがる。

ESN が開催している行事があるときは参加している。こういう場で友達ができるので行くべきである。

5.3. 現在までの感想

相手の言っていることは簡単なことなら理解できているつもりでいたが、いざ会話となると切り返せなかったり、苦戦ばかりで辛いと思っていたが、自分が話すのをゆっくり待ってくれる友達ができるとてもうれしかったし、楽しい。考えすぎたり、自分は全然話せないんだと思ってしまうと余計話すことが怖くなってしまおうと思うので、あんまり深く考えないようにしている。その上で相手との会話を大切にしようとするのが大事なのかなと思っている。

悩みはルームメイト（スペイン人）がターザン語で話してくることだ。スペイン語のターザンを見たことがあるだろうか。ターザンは動詞を活用しないで喋るのだ。例えば Yo comer. 彼女はよかれと思ってやっているのだがこちらとしては少し困る。他の友人が彼女に「この子はスペイン語を勉強しに来てるんだから普通に喋りなよ！」と言ってくれたのだが「理解してるんだからいいじゃん！」と言っており（そういう問題ではない。それに活用されていても理解はできる）直してくれる気配がないので、今度は自分で言ってみようと思う。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (11 月)

所属	外国語学部	スペイン語	学科 専攻
派遣先大学 (国)	エストレドゥーラ大学 (スペイン)		
所属プログラム・ 学部・研究科	filosofía y letras		
報告書提出日	2019年 11月 2日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

DELE の B2 に合格する。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

日本から持ってきた単語帳や文法書をつかい、自主勉強の時間を多くとった。語学学校では接続法過去の用法について勉強している。よく理解できていなかったところでもあるし、日本で実践して使う場面もなかったところなので、授業内でゲームをしながら接続法過去を使うことで少しずつ自分の中に落とし込んでいる感覚がある。B2 のレベルにはまだ到達していないが少しずつ近づいていると思う。

1.3. 今月の学習・研修目標

自主勉強の時間は今まで通りきちんと取り、なおかつ大学の課題を 11 月末に出さなければならぬので、そちらの時間も取りたいと思っている。

2. 学修について

2.1. 授業について

スペイン史の授業は日本で勉強していたことに加え、知らなかったことも細かく授業で説明される。なので新しい発見もあるしとても面白い。

Gramática Normativa の授業は音声学の部分に共通する点があり、日本での勉強が理解を深めることに役立っているし、同音異義語について今まで知らなかったこと、曖昧な認識だったものを説明してくれており、この授業は私の語学の向上にも役立っていると実感する。

どちらの授業にも共通して言えることは、授業の進度はとても早く、スライドがとても早く切り替わるので書ききることができないということだ。変化した点は先生が言っていることを少しずつ理解できていると思う点が増えてきたことだと思う。相変わらず分からないことも多いが、理解できるところは素直にうれしく感じる。

2.2. 予習・復習・自習について

大学の授業に関する自習は他の自主勉強や語学学校の授業に比べて時間を取ることができていなかったと思う。この反省を生かして今からはより復習にかける時間をふやしたいと思う。

2.3. 語学力について

最初は全く自分の伝えたいことを伝えることができないことにジレンマを感じていたが、最近はゆっくりではあるが、ちゃんと自分の伝えたいことがちゃんと相手に伝わっていることが増えていると実感する。もちろん複雑なことは伝えることができずモヤモヤはしている。友達との会話の中で新しい単語にであい単語量も増えているとおもう。こちらにきたばかりの時は言葉が出ないことが多かったし、喋ることにに対して少し恥ずかしさもあったが、最近では間違えても恥ずかしいことではないし、そもそも相手は私がスペイン語勉強中なのを知っているし怖がる必要ないと思ってきたので、喋れるようになってきたと思う。問題点は文法？とは思いますが文法は自主勉強や語学学校で勉強できるので、人と会話する点では少し離れた話かと思う。（語学はコミュニケーションがとれるかどうかは鍵だと思うからだ。）

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	民間アパート（その他： ）
----	---------------

生きる点でいえばスーパーも近いし、服屋さんもたくさんあるので困ってはいない。しかし、同居人たちに対してフラストレーションがとても溜まっている。彼女らは使った食器をあらわず台所に放置し、パン屑などをそのままにするのにも関わらず、私が一度 IH を拭き忘れたら直接言ってこないのに Whatsapp のグループで晒しあげて（そのあときちんと拭いた）、翌朝台所に行ってみるとパン屑などが IH のところに放置されている。洗濯機を使う曜日も決めたのに守らない。これは国際理解とかそういう概念を超えた、そもそもの人間性の問題だし、彼女らには呆れて何も言う気になれない。問題解決をすべきと思う人もいると思うが、私はこれ以上関わろうとすると、そろそろ健康にも被害が出てきそうなほどなので、この家を離れるべく新しく住むところをさがしている最中である。

3.2. 課外活動について

休日は友達との Whatsapp のグループみんなでライブに行ったり（こっちは無料のライブ？が週末になるとたくさん開催される）、ご飯を食べに行ったりしている。

雨の日は家で映画を見て生のスペイン語の表現を楽しみながら学んでいる。

先月はサラマンカにいる友達に会いに行き、サラマンカの歴史を、身を以て体感することができ、キリスト教とスペインの関係性の深さを改めて知り、興味が湧いたり、とてもいい旅行だったと思う。

3.3. 現在までの感想

スペインでの生活にとっても満足している。友達も新しい家の内件に付きあうよと言ってくれるほど優しいし、何より一緒にいて楽しい。最初は不安だらけだったのに、心配してくれる友達たちのおかげで、最近是不安などはなくなった。

家のことで辛い時もあったが、愚痴らせてくれたり、わたしよりも怒ってくれる友達にとっても感謝している。また何か困ったことがあれば、留学経験者の友達に聞くことも大切と思った。初めての留学で分からないことや、「わたしがおかしいのかな？」、「私が耐えれば済む話？」など、私のように悩むこ

とは必ずあると思う。だからこそ人に話すこと、相談することはとても大切である。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	スペイン語学科	4	年次
派遣先大学 (国)	エストレマドゥーラ大学 (スペイン)				
所属プログラム・ 学部・研究科	Filosofía y letras	履修言語	スペイン語		
留学期間	2019年9月～2020年3月				
報告書提出日	2020年5月19日				

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Primer Semestre	9月10日 ～1月9日 (15週)	1月10日 ～1月27日	ネットでシラバスを閲覧できる。組みたい授業を指定用紙に記入し、学部長に見せる。ハンコを押してもらおうと正式に登録完了。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Primer Semestre	Historia de España	60時間	講義は週に4日、1回1時間。内容はスペインの歴史を初期から近代まで幅広く。評価方法は、授業内でのプレゼンテーションと筆記試験。筆記試験は問題に沿って、各自調べてまとめるタイプ。
		1 (時間/回) × 4 (回/週) × 15 (週)	
Primer Semestre	Spanish Language Course	39時間	講義は週に2日、1日90分。レベル分けテストを受けたのち、クラスを分けられる。テキストに添い、文法を学んでいく。評価方法は、授業への参加度と、プレゼンテーション。
		90 (分/回) × 2 (回/週) × 13 (週)	
Primer Semestre	Gramática Normativa	60時間	講義は週に4日、1日1時間。内容はスペイン語の文法規範について深く掘り下げていく。文法違反のレポートをまとめる。評価方法はレポートと筆記試験(電子辞書持ち込み不可。)
		1 (時間/回) × 4 (回/週) × 15 (週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

授業は録音しておき、授業中にまとめたノートと合わせて復習していた。スペイン語の会話クラスでは、その日にやった文法などをより理解するために、ノートにいくつか文を書いたりして、記憶に定着させた。これは二学期から始めたことだが、授業は手書きよりもパソコンが便利。(少しでも聞き取れた話などをメモ程度に残しておき、あとで編集できるから。手書きだとすべて書き切れないし、あとで見返した時に、何の話だか思い出せないから)

1.4. 語学力について

留学当初は頭が真っ白になり、単語すら出てこないことが頻繁にあったが、徐々に自然と文でちゃんと伝えられるようになった。わからない単語でも簡単な単語や説明で伝えられるようになった。個人的に通っていた語学学校で知らない単語や表現方法があったら、メモしておいて家に帰ったあと使い方などを単語帳に書き込んだ。1日最低1時間単語帳、1時間文法表現のための時間を作った。そうすることで、徐々に記憶に定着し、日常会話で使えるようになっていった。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

スペイン史の授業では日本でやったことが頭の片隅にあったので、プラスアルファの知識をつけることができた。映画を見てプレゼンテーションすることで、その時代の歴史的背景や問題点を見つめ直すことができた。

スペイン語文法規範の授業では、おかしな文法を学びながら、その都度自分に落とし込んで、スペイン語の会話の授業でも生かすことができた。スペイン語の文を作る時に役立つと思う。

スペイン語会話の授業では、ゲーム形式などの参加型授業だったので、記憶に定着しやすい。友達との日常会話でも話せるようになった。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

一気に復習しようとせず、1日1日理解して授業に臨むこと。とったノートは訳した方が後で見返す時に(テストのためにも)良い。

2.3. 留学生活で得られたもの

・「とりあえずやってみよう」精神がついた。

「分からないから、話せないから、経験がないから」という理由で諦めるのではなく、同じ時間を共有すること、経験することの方がよっぽど大切だと身をもって知った。「やって後悔しよう。失敗してもそれを糧に解決策を探ろう」という気持ちや、主体性が生まれたと思う。

・ストレスはよくない、ということも知った。ピソが合わないなら引っ越した方がいい。

・グダグダやるのではなく、スピーディーに動いた方が時間の無駄にならない。留学は（人生もそうですが）時間が限られているのだから、毎日をより充実させるためには何をしたらいいか、常に考え実践し続けることが成功の鍵だと思う。

・計画性が身についた！勉強日程を組んでいくうちに。。。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

違う国で育った人たちと関わると、新しい発見に出会えたりする反面、理解し難いことにも出会うと思います。どちらの経験も、必ずあなたの成長の種となってくれるはずです。恐れなくて立ち向かっていきましょう。本当にどうする術もなく、ストレスになったら逃げてください。「逃げるは恥だが役に立つ」です。

授業や遊びも、毎日頑張れたら良いですが、それは人間なので難しいと思います。小さな「できた」を積み重ねる方が大切です。自分にご褒美をあげるのも大切です。留学は精神との戦いでもあります。私は1ヶ月に1回学食を食べることをご褒美に頑張っていました。エストレマドゥーラ大学に行く人は、学食が美味しいのでおすすめです。きっと虜になります。

留学志望の方へ。どうせ後悔するなら、経験して後悔しましょう！後悔から学べることもあるはずです。あなたの留学生活が素敵になることを祈っています。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

記入日	2020年5月16日	
派遣先国	スペイン	
派遣先大学	エストレマドゥーラ大学	
留学先での所属学部	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等 学部名：(Filisofía y letras) <input type="checkbox"/> 語学研修 <input type="checkbox"/> その他 ()	
本学での所属	外国語学部	スペイン語学科・専攻
学年	3年次 (留学開始時の学年)	
	3年次 (留学終了時の学年)	
留学期間	留学開始年月 2019年9月 ~ 留学終了年月 2020年3月	
	留学期間 7ヶ月間	

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数)
3	住居形態の詳細を教えてください。	(シェアハウス、一人一人部屋あり)
4	入居時手続き	(契約書を読み、サイン後月々現金支払い)
5	費用 (月額)	(約16800)円
6	食費 (月額)	<input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 () 円
7	支払方法	()
8	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
9	住居選択方法	<input type="checkbox"/> 大学に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
10	周囲環境	(安いスーパーがいくつもある。駅までは徒歩20分程度)
11	アクセス	(バス停から大学まではバスで15分程度)
12	留学中の住居に関してアドバイス	(シェアハウスで無理は禁物なので、合わないと感じたら引っ越す。)
13	引越しされた方は引越し先の住居形態を記入ください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
14	詳細を教えてください	(合計4人で住んでおり、ルームメイトは皆スペイン人。一人ひとりの部屋は広くて収納もある。食器は各自自分で用意。(ここが一番お金かかった。))

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(Oronge という携帯会社でSIMを購入。毎月支払いに行く。)

4	自宅のインターネット 接続環境	無線（プロバイダは別途契約）
5	大学内インターネット 接続環境	無線（プロバイダは別途契約）

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均）		
1	宿舍費	175 /月 備考（€。家賃、水道光熱費、WIFI 代込）
2	食費	100 /月 備考（€）
3	交通費	30 /月 備考（€）
4	通信費	20 /月 備考（€）
5	娯楽費	70 /月 備考（€）
6	図書費	10 /月 備考（€）
7	学用品（教科書など）	5 /月 備考（€。教科書はなく、コピーするためのコピー代）
8	被服費	50 /月 備考（€）
9	医療費	0 /月 備考（ ）
10	雑費・その他	0 /月 備考（ ）
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む）		
11	出願料・宿舍デポジット	145 /月 備考（€。Fianza(敷金)）
12	ビザ申請関連費	/月 備考（ ）
13	航空券代（休暇時旅行費用は除く）	150600 円/月 備考（往復）
14	その他	? 円/月 備考（ビザ関係の書類を揃えるために色々な場所を行き来するので、交通費が意外とかかる。）
15	留学全日程に要した総額（概算）	約 60 万 円/合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時： 80000 円） <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名： 楽天のデビットカード） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> クレジットカードからのキャッシング <input type="checkbox"/> その他（ ）	
17	現地で銀行口座開設	してない
18	お金に関するアドバイス （今後留学をする学生に対して）	デビットカードは作るべき。現金をそのまま持つていくのは危ないし、€にその都度両替する羽目になる（面倒）。デビットカードなら日本で作れて、口座にお金を入れておけば好きな時にユーロで引き出すことができ、現地での口座開設も必要ない。とにかくデビットカード一枚あればとても楽。

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	<u>L2</u> (11 か月分で 123050 円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	日本から持参した方が良かったなと思う薬などはありますか？理由は何ですか？	効くのだ飴

V. 持ち物について

1 日本から持っていったもの

薬、体温計、コンタクト、サングラス、月経カップ

2 現地で購入したもの

服、電球

3 (自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの

上下ヒートテック (本当に寒い)

VI. 留学先で困ったこと

部屋の電球が頻繁に切れた。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

困ったことがあったら、ルームメイトなどに遠慮なく相談。みんな親身になってくれる。